

とっとり 県議会だより

平成24年6月定例会

編集・発行…鳥取県議会

県議会広報紙…年4回発行

No.001

Jun.
6月
議会

📌 主な記事 Contents

鳥取県議会基本条例.....	2p
代表質問.....	3p
一般質問.....	4~6p
議決結果.....	7p
委員会活動ほか.....	8p



6月27日開催の議会風景

● 創刊あいさつ



第82代
鳥取県議会議長
伊藤 美都夫

県民の皆様には日頃から、県議会はもとより、県政の発展に対し御理解と御協力を賜り、県議会を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

鳥取県議会は、県民の皆様から選挙により選ばれた35名の議員で構成されており、二元代表制の一翼を担う機関であります。

県議会がその責務を果たしていくためには、開かれた県議会の推進、議会の自己改革が必要であると認識し、議会改革を断行し、議会の活性化に努めてまいりました。

しかし、県民の皆様の中には「県議会が何をしているのかわからない」「議員の活動が見えない」といった御意見も少なくありません。

そのため、県議会の動きや議員の活動をお知らせしようと、県議会広報紙「とっとり県議会だより」を創刊し、県内全世帯へ配布することいたしました。

この「とっとり県議会だより」を通して、県議会をより身近に感じていただければ幸いです。

今後とも引き続き県議会に対し、御理解、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 6月定例会の概要

6月定例会は6月11日に開会。平井伸治知事が暴風・降ひょう被害復旧対策や原油高騰対策などからなる総額48億3,700万円の「平成24年度鳥取県一般会計補正予算」や、京都・神戸両市の関西広域連合加盟のための規約変更など17議案を提案した。

本会議では鳥取県議会自由民主党と会派「かけはし」が代表質問に立ち、25名の議員が一般質問し、県政の幅広い分野で知事らと活発な議論を展開したほか、常任委員会で議案を慎重に審議し、本会議での討論を経て、予算案及び条例案など17件を原案のとおり可決・承認。公安委員会委員と収用委員会委員の人事案件4件に同意して7月4日、閉会した。

議会改革推進会議で昨年10月から協議を続けてきた「鳥取県議会基本条例」も議員提案され、全会一致で可決した。国内では初めて議員の調査活動として執行部の資料提出義務を明記したほか、議会活動への県民参加の機会確保、意思決定過程の透明化などの条項も盛り込み、二元代表制の一翼を担う県議会の機能を強化充実していくことを明確に宣言した。また、「中国地方広域連合調査特別委員会」を設置し、議論を始めた。